



千葉市議会議員

ふくだに しょうこ 福谷章子の まちづくり通信

2011/3/28 災害と情報
編集発行：福谷章子

福谷章子の日記（ブログ）：<http://fukutani.blog.ocn.ne.jp/blog/>

メールアドレス：fukutani2903@gmail.com

千葉市緑区おゆみ野 3-40-8 河野ビル 213 TEL&FAX:043-312-2903

水道水の安全性 ～放射性ヨウ素が検出されたけれど～

千葉に給水をしている柏井浄水場から、3月25日に130ベクレル（東側施設）と54ベクレル（西側施設）の放射性ヨウ素が検出されました。飲料水であるだけに不安感が広がりましたが、この数値は26日には下がりました。（東側63ベクレル、西側43ベクレル）。22日に基準値を超えた東京都でも24日には基準値以下となり、降雨による一時的な数値の上昇と考えられています。

とはいえ備えあれば憂いなし。千葉市では、緊急時の乳児の保護者に対して災害用井戸・給水車による給水の準備、保育所の3日分の備蓄などが手配されています。27日には花見川・稲毛・美浜区役所に給水車が出勤し、対象地域の小学校でも災害用井戸から給水が行われましたが、実際には数値は基準値以下だったのです。安心してゆったりした気持ちで赤ちゃんに向き合ってくださいね。

さて、乳幼児の水道水摂取は気になることです。ミネラルウォーターも乳幼児にとってはミネラル過多となり必ずしも良いとは限りません。もしも、調乳にミネラルウォーターを使用するのであれば、ラベル記載の硬度が100以下の軟水（数値が低いほうが良い）で、できるだけミネラル含量が少ないものが良いそうです。硬水はミネラルが多すぎて、乳幼児にはかえってよくないとのことなのでお気を付けください。

なお、日本産科婦人科学会によると、仮に200ベクレルの水を妊娠期間中（280日間）、毎日1リットル飲んだ場合の総被ばく量は1232マイクロシーベルトで、胎児に影響が出る5万マイクロシーベルト未満であることから健康被害は起こらないとのこと。

国が示した基準値：乳幼児100ベクレル 大人300ベクレル。

放射能と食の安全 緊急勉強会報告 誰もが抱える漠然とした不安感

地震と大津波、そして福島第一原発の放射能漏れと続き、不安感は蔓延しています。今回の放射能事故は、今までに経験したことのない事態に思えますが、広島やチェルノブイリの事故の方が比較にならないほど規模は大きかったです。洗濯物は干していいのか、恐ろしいイメージがある、国は何を考へながら基準値を設定しているのか、などの疑問が上がりました。農作物や乳製品、そして水道水などの放射性物質に関する規制値は暫定的なもので、食品衛生法に基づき急遽定められた指標値ですが、「現段階で検出されている放射性物質の値は心配ない（日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会食生活特別委員会副委員長：蒲生恵美氏）」のです。正しい情報と知識を得る場が必要です。

引き続き計画停電 その後・・・

3月14日から始まった計画停電。市民にとってはどんな基準で除外区域が決まったのか、どんな基準で実行されたりされなかったりするの、今後の電力見通しはどうか、そういったことが気になる！と前回書きました。その後東京電力はグループを細分化し、25グループにしました。千葉市は1Dと2Cになりますが、詳しくは千葉市のホームページでご確認ください。<http://www.city.chiba.jp/index.html>

そして、市長から東京電力に対して「災害拠点・救急病院、上下水道・卸売市場などの生活インフラを停電対象から除外するなどの統一的ルールを夏場までに自治体とともに作る」ということを要請しています。せめて、計画停電の基本方針と、今後の電力の需給見込みについては、きちんとした説明を求めたいと思います。

情報調達 どこからしますか？

何を判断するにも何を行うにも、情報は大切です。特に今回のような災害時には、正確で迅速な情報を得ることが生死をも分けることにもなります。普段から、何処から情報を得るか、入手先を自分なりに確保しておく必要があります。たとえば私は、**インターネットと紙媒体そして口コミ**を利用しています。テレビはほとんど見ません。インターネットでの優先順位は、メーリングリストを含むメール、ツイッター、ブログ、そしてホームページと言う順です。紙媒体では、新聞、各種ミニコミ、市政だより、週刊誌や書物です。そして微に入り細に入りは、何といたっても口コミです。

さらに議員という立場上、行政からのメールやファクスによる情報提供という特別な情報ルートもあります。そしてこの特別なルート経由で得た情報は私個人のものではなくて市民のもの。ただちにみなさんにお渡しすべきものです。かくして情報の受け手としてだけでなく、送り手としても工夫をこらす日々です。

千葉市の情報アラカルト

東北関東大震災

千葉市内でもこんな被害が！

3月24日、千葉市美浜区が、国から災害救助法の適用を受けました。美浜区では、全壊の住宅が16戸、半壊の住宅が320戸となっており、美浜区役所では総合相談窓口を設けて罹災証明の発行など、相談に応じています。

市全体では、61避難所を開設し、帰宅困難者等5,486人（ピーク時）の避難者受け入れています。市役所も壁に亀裂が入ったり、窓ガラスが割れたりしています。写真は議会棟の応急処置です。



復旧のための補正予算

13億2000万円を専決処分

【復旧の内容と予算額】

- ・道路や橋などの応急工事
8億5500万円
- ・学校施設（グラウンドなど）
1億500万円
- ・保育所外壁や給水管
1億5000万円
- ・QVC マリッフィールドの照明
2億1000万円

千葉市からも職員が応援に

緊急消防援助隊が、地震発生日から福島県や岩手県に支援に入っています。3月11日から24日まで、交替で第5次派遣隊まで出動。

青葉病院から、医師3名、看護師2名、事務職1名の医療チームを陸前高田市に20日から23日まで派遣。

厚生労働省の要請により、保健師などの職員3名1チームを釜石保健所へ4月末まで1週間交代で派遣。

宮城県の要請により、仙台市へ被災宅地危険度判定士の資格を持つ職員3人1チームを3月31日まで派遣。

環境省の要請により、ごみ収集車2台と職員6人、工場における大気・水質などの監視・指導業務の補助に職員3人を派遣予定。

千葉市義援金ありがとうございます

5,169,077円（3月25日現在）

日本赤十字社を通じて被災者の救護活動などに役立てます。

引き続きご協力をお願いします。募金箱設置場所は以下の通り。

- ・緑区役所（1階地域振興課 2階市民課 4階総務課）
- ・公民館・市民センター・緑消防署・コミュニティセンター等

第二次救援物資の受付

第一次救援物資のご協力ありがとうございました。4月から、第二次受付をいたしますのでよろしくお願いいたします。

募集期間

4/2（土）～6（水）

9：00～17：00

受付場所 緑区役所

受付品目

使い捨てカイロ

紙皿、紙コップ

家庭用ラップ

カップラーメン

レトルト食品・おかず缶詰

（賞味期限3か月以上）

トランプ

* 阪神・淡路大震災の事例を参考に、概ね発災後1か月以降に要望があったものの

発送予定 4月10日ごろ